

洋上風力発電普及啓発推進事業

事業報告書(概要版)

2025年 2月 28日

株式会社JTB北海道事業部



感動のそばに、いつも。

(1) 業務の背景・目的

石狩市では、2024年1月に営業運転を開始した石狩湾新港港湾区域での洋上風力発電のほか、今後、一般海域（石狩市沖）での洋上風力発電事業の計画が見込まれている。

洋上風力発電は、建設や保守管理など、多様な産業が関わる可能性があるが、国内における洋上風力発電事業は黎明期であり、関連する企業や人材の育成が不十分である。特に本市は、石狩湾新港の活用により道内の洋上風力発電事業に関わることができるポテンシャルがあり、地域への経済効果を最大化させることが期待されている。

そこで、官民が連携して洋上風力の地場産業化に向けたプラットフォーム（組織体）を構築し、技術や経験を生かした中小企業の業態転換や参入を後押しするとともに、将来の働き手となりうる市民や若年層への周知活動を展開するため、必要なコンテンツの作成及びワークショップ・出前講座等の企画等を行う。

(2) 業務内容

① 洋上風力先進地の関連企業と市内企業のマッチングについて

洋上風力先進地の企業と市内企業のマッチング手法を整理する。

② 地域企業の洋上風力産業参入を実現するための組織体結成のサポート

石狩市内の企業と洋上風力関連企業（洋上風力発電所の開発事業者、ゼネコン、先進地の企業等）をつなぐ組織体を結成するため、石狩市とともに地域企業や関連団体と調整を行うほか、組織体の在り方を検討する。

③ 機運醸成策の検討・実施

地域企業の洋上風力関連産業参入に向けたイベント（洋上風力発電に関するワークショップ、セミナー、フィールドワーク、情報交換会等）を実施する。
（計4回程度）

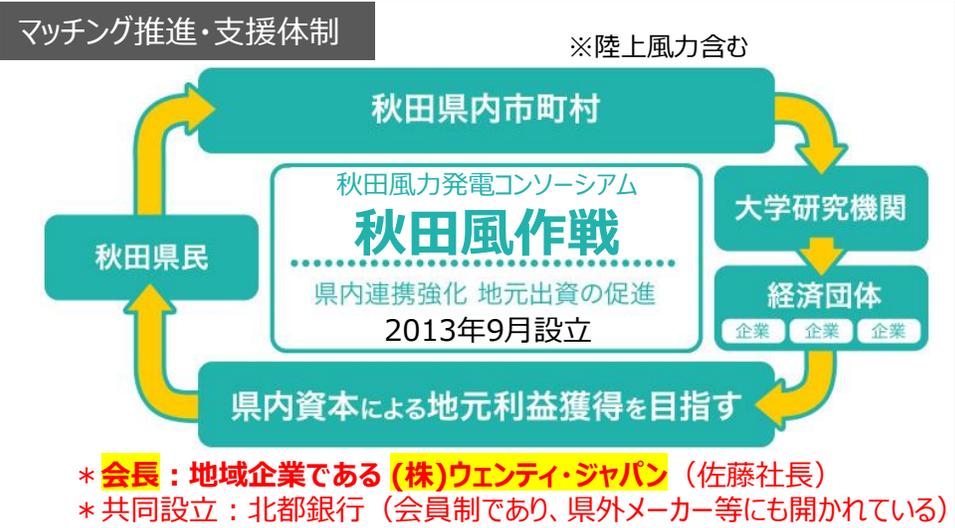
④ 上記①～③の成果を取りまとめて報告書及び概要版資料等を作成する。

<本業務の方向性>

今後の一般海域（石狩市沖）での洋上風力発電事業を見据えて、地域企業の同産業への関心・理解の醸成を進めるとともに、地域が同産業を受容できる体制として、地域企業からなる組織体の土台を形成する。

若年層の洋上風力発電に対する興味・関心を惹きつけるコンテンツを作成し、世代を超えて展開される洋上風力発電事業への理解促進や産業の担い手創出に繋げる。

①洋上風力先進地の関連企業と市内企業のマッチングについて（取組事例 「秋田風作戦」）



コンソーシアムの主な取組み

本コンソーシアムは、自治体はじめ地元製造業、金融機関のほか県外メーカーなど様々な業種により組成され、**メイド・イン秋田の発電機（風車）の製造や、風力発電に親和性の高い産業の育成を大きな目標**にしている。

産学官金の連携

会員総数100団体以上
(2021年3月現在)
自治体・大学・電力事業者
土木建設・製造業・金融等
様々な業種の団体

入会金：一律10,000円
年会費：正会員 50,000円
賛助会員 20,000円

＜事業内容＞

- (1) 風力発電に関する研究開発、実証研究の実施
- (2) 配送電、系統連系に関する研究と開発
- (3) 風力発電事業の立ち上げと継続に関わる投資・金融手法の研究と開発
- (4) 再生可能エネルギー、電力等に関する法制、制度の研究と提言
- (5) 風力発電機関連産業の産業化
- (6) 再生可能エネルギーに関する啓発、情報発信

マッチングに向けた取組み

会長であるウェンティ・ジャパンが参画する秋田由利本荘オフショアウインド合同会社に係るマッチングに関する説明会等において、「秋田風作成」は告知・情報通知などの役割を担っている。

公平・公正にマッチングイベントに関する情報が行き渡り、幅広く情報が入手可能となるような取組み

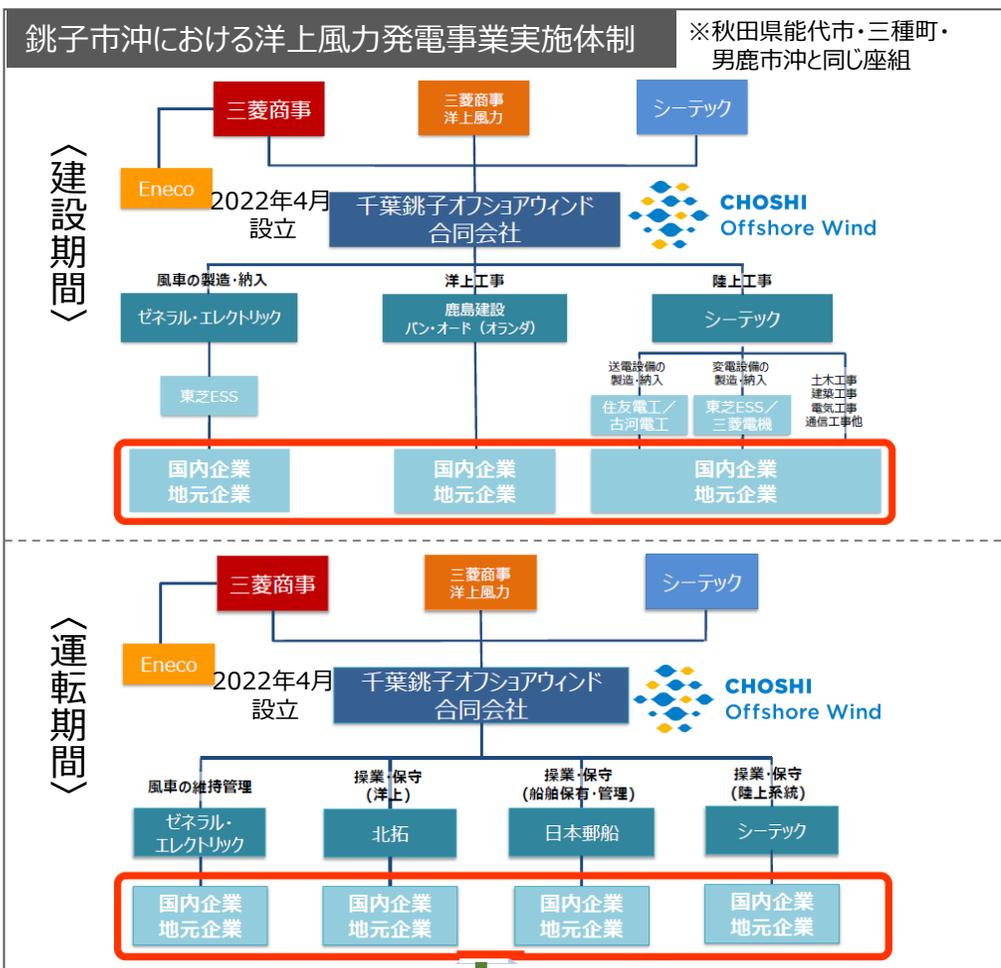
例) 直近の秋田県内でのマッチングイベント

開催日・場所	2024年2月29日 @秋田市内 2024年3月6日 @由利本荘市内	
業務説明会概要	<ul style="list-style-type: none"> 主催者（秋田県、由利本荘市沖洋上風力発電事業推進協議会）による挨拶・取組み紹介 発電事業者によるプロジェクト概要説明 シーテック（元請予定会社）による業務内容説明 質疑応答 名刺交換会（秋田県内企業とシーテック/送電・電気・土木工事担当） 	
参加者	秋田市	124名（あきた洋上風力発電関連産業フォーラム会員及び会員外の秋田県内企業） ・シーテックより11名、事業者より10名
	由利本荘市	53名（由利本荘市沖洋上風力発電事業推進協議会会員及び会員外の秋田県内企業） ・シーテックより11名、事業者より8名

情報通知手段	内容
イベントを活用	秋田県主催の「あきた洋上風力発電関連産業フォーラム」や「秋田風作戦」を利用した情報通知。
ホームページを活用	最新情報を下記ホームページ内に掲載 ◆秋田県産業労働部 クリーンエネルギー産業振興課（県主催・共催時） ◆秋田由利本荘オフショアウインド合同会社
関連自治体との連携	由利本荘市との連携を進め、HPに掲載した情報内容を共有、併せて事業者より書面や電子メールによる情報通知を実施。
秋田県内の商工会議所、商工会、産業団体との連携	HPに掲載された情報を各業界団体に共有の他、各団体に対して、月報等での情報通知や総会時での個別企業への情報通知を依頼。

①洋上風力先進地の関連企業と市内企業のマッチングについて（取組事例 「銚子協同事業オフショアウインドサービス株式会社」）

洋上風力発電事業者(SPC)の「千葉銚子オフショアウインド」は、**運転保守**において、「**銚子協同事業オフショアウインドサービス(C-COWS)**」との連携を念頭においた体制整備を検討。



連携

洋上風力発電機のメンテナンスを担う企業として設立
銚子協同事業 C-COWS
 オフショアウインドサービス株式会社
 2020年9月設立

JF 銚子市漁業協同組合 60%
 銚子商工会議所 30%
 銚子市 CHOSHI CITY 10%
 ※数字は出資率

C-COWS (Choshi-Cooperative business Offshore Wind Service Co.) の主な取組み

風力発電機のメンテナンスを通じ、地元雇用の創出等、漁業との共存・共生、洋上風力発電の利益を地域全体に広く還元し、発電事業者と共に地域社会を活性化していくことを使命とする。

代表取締役：漁協 代表理事組合長
 取締役：漁協 副組合長理事
 取締役：銚子商工会議所 会頭
 取締役：銚子市地域おこし協力隊
 監査役：銚子市長

＜事業内容＞

- (1) 風力発電施設の保守及び管理に関する事業
- (2) 風力発電施設の建設及び建設準備に関する事業
- (3) 風力発電施設の周辺環境の調査及び視察等に関する事業
- (4) 前各号に附帯又は関連する一切の事業

◆発電事業の稼働（2028年予定/ 2025年～建設工事開始）に照準を合わせ、2024年8月現在は、「メンテナンス事業」「視察受入事業」の2本柱で活動。

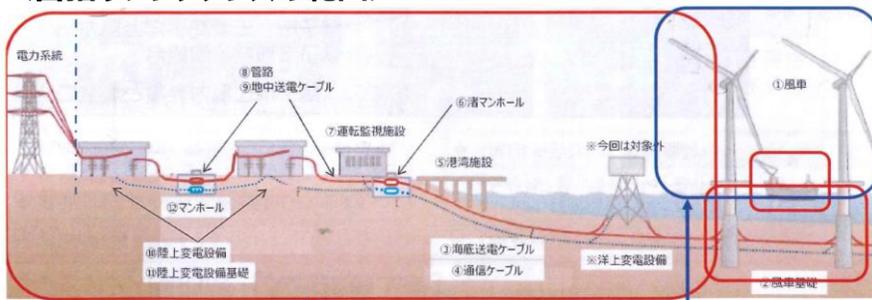
メンテナンス事業

- 出資者の三者が連携し、市内企業を積極的に活用していく
- 関係団体と連携し、人材養成のためのカリキュラムやトレーニングセンターの設置などを通じて、銚子発のメンテナンス人材の育成にも取り組んでいく

視察受入事業

- 企業や行政からの視察、修学旅行を含む教育旅行などに対し、案内する
- 視察プラン企画から予約手続き代行、送迎バスの運行まで、(一社)銚子市観光協会とともにトータルでサポート

＜目指すメンテナンスの範囲＞



BOP (Balance of Plant)
 風車以外の発電設備調達・建設工事

風車

2021年10月
銚子市沖洋上風力視察受け入れ協議会
 設立

＜基本コース＞
 地球の丸く見える丘展望館
 ↓
 関係団体との意見交換
 ↓
 銚子観光
 ・犬吠テラス (地域情報発信施設)
 ・ウオッセ21(海の幸の総合センター)
 ・銚子セレクト市場
 * 基本料金：税込3,000円/人

②地域企業の洋上風力産業参入を実現するための組織体結成のサポート（組織体の在り方の検討）

各種調査における、地域企業の洋上風力関連産業参入に関わるファクト・知見の把握

1. 洋上風力先進地調査

- (1) 秋田県（秋田市・能代市ほか）
- (2) 千葉県銚子市
- (3) 長崎県五島市
- (4) 福岡県北九州市
- (5) その他（室蘭市、福島県、青森県）

2. 石狩市内企業調査

- (1) 市内企業の洋上風力関連産業参入検討に資する既往調査・文献調査
・洋上風力市場への国内企業の参入状況、難易度
・発電事業者、完成品メーカーのニーズ、課題感を中心に整理。
- (2) 市内企業アンケート調査
石狩市内に本社・事業所等を置き、右記ワークショップに参加した企業・団体を対象に、洋上風力関連産業参入に関する意識調査を実施。

3. 機運醸成策の検討・実施

- (1) 地域企業向けイベントの実施
⇒ ワークショップの開催（全3回）
洋上風力やまちづくりに関わる有識者・専門家の講演＋地域企業の洋上風力産業参入に向けて企業が連携して何ができるか・何をすべきか、また将来のまちづくりについて、意見交換・グループワークを開催。

洋上風力市場における受発注マッチング促進及び地域企業による組織体構築に向けたポイントの抽出

各先進地域で、洋上風力関連産業への地元企業の参入促進、地域産業の育成及び雇用創出と地域経済の発展を目的に立ち上げられ、参入実現や参画企業拡大等成果を上げている組織体の体制及び“マッチング”に関する取組みのポイントを抽出。

洋上風力発電事業者や完成品メーカー等発注側と、地域企業双方の受発注マッチングにおけるニーズ・ギャップ・課題から、石狩市内企業の市場参入に際しての課題感や要望を踏まえたうえで、課題を解決する方向でのマッチングの在り方及び組織体の取組みポイントを抽出。

洋上風力発電事業者として出資・参画し、地域企業による組織体のとりまとめ役としても活動する秋田市の地域企業や、メンテナンス専業として日本最大のサードパーティである企業の講演及び石狩市内企業の意見集約から、地域企業が市場参入に臨む姿勢、ポイント、石狩市内企業による組織体の取組み方向性を抽出。

洋上風力関連企業と市内企業のマッチング及び洋上風力産業参入実現のための組織体の在り方検討

③機運醸成策の検討・実施（地域企業向けワークショップの実施）

【実施目的】

洋上風力発電が立地する石狩湾新港及び今後計画が予定されている石狩市沖の活用により、より多くの市内事業者が洋上風力発電事業に関わることで、地域経済の活性化を目指すため、官民が連携して洋上風力の地場産業化に向けたプラットフォームを構築し、各事業者が主体的にこれに関わり一体となって業態転換や参入等に取り組んでいく機運を醸成する。

■ 第1回ワークショップの概要

【開催日時】

2024年10月25日（金） 15:00～18:00

【会場】

石狩商工会館3階 大ホール + オンライン
（石狩市花川北6条1丁目5番地）

【ファシリテーター】

伊東 将志 氏
一般社団法人つちからみのれ ファウンダー
内閣府 地域活性化伝道師
株式会社温泉道場 監査役

【参加者】

地域企業17社・25名

■ 第2回ワークショップの概要

【開催日時】

2024年12月4日（水） 15:00～17:00

【会場】

石狩商工会館3階 大ホール + オンライン
（石狩市花川北6条1丁目5番地）

【情報提供】

佐藤 裕之 氏（オンライン参加）
株式会社ウエンティ・ジャパン 代表取締役社長
秋田風力発電コンソーシアム「秋田風作戦」会長

【参加者】

地域企業24社・33名

■ 第3回ワークショップの概要

【開催日時】

2025年2月14日（金） 15:00～17:40

【会場】

石狩商工会館3階 大ホール
（石狩市花川北6条1丁目5番地）

【情報提供】

吉田 響生 氏
株式会社北拓 専務取締役

【参加者】

地域企業21社・28名

③機運醸成策の検討・実施（市内企業の洋上風力発電関連産業参入状況・意識等調査）

【アンケート調査概要】

調査目的	✓ 石狩市内の中小企業等における風力発電関連産業（洋上・陸上にかかわらず）への参入状況や意欲について広く把握するとともに、次年度以降に予定している、参入に係る課題や行政への要望等を深掘りするヒアリングの対象企業抽出に資するデータを取得する。 ✓ 洋上風力関連産業の地場産業化に向けた組織体構築のための取組検討に資するデータを取得する。	
調査対象・手法	・2024年10月25日、12月4日実施の地域企業向けワークショップに参加した企業・団体等 26社にアンケートリンク（URL）を配信、回答いただいた。	
サンプル数	配信数	26社
	回収数	18社 回収率：69.2%
実施期間	2024年12月10日～2024年12月20日	
調査項目	✓ 洋上風力関連産業への参入状況・関心 ＊参入済（撤退済含む）または参入に関心のある企業について、 ✓ 関連する生産工程 ✓ 参入に係る課題、参入障壁 ✓ 行政等に希望・期待する支援策 ✓ ワorkshopに対する期待・要望 など	

- 洋上風力発電関連産業への参入に対し石狩市内企業の関心は高いが、検討・実現に向けてはあらゆる面で「**情報、知見・知識**」の不足を感じている。さらに、技術や情報を提供してくれる相手や大手企業とのつながり等**ネットワークの不足**や、**技術力や専門性の不足**が参入障壁であるととらえている。
- 外部環境に起因する参入障壁としては、**海外企業とのやり取りや外国語の設計書**が大きく、**閉鎖的な市場環境や業界特有の商習慣**にも**ハードル**を感じている。
- 市内企業は、「広く洋上風力関連**情報の集約一元化・共有**」「**石狩市の洋上風力の窓口**」として機能する、積極的・主体的に活動し柔軟な対応ができる組織体で、地域一体となって**参入可能な事業等を理解・把握し、新ビジネス創出や地域の発展など地元**に恩恵のある**取組み**をしていくことを望んでいる。

③機運醸成策の検討・実施（次年度以降の本事業方針検討のための市内事業者アンケート調査）

【アンケート調査概要】

調査目的	✓ 地域企業向けワークショップを中心に今年度の本事業の取組みを総括し、次年度以降の活動の方針検討に資するデータを取得する。 ✓ 洋上風力関連産業の地場産業化に向けた組織体構築のための取組検討に資するデータを取得する。	
調査対象・手法	・2025年2月14日実施の地域企業向けワークショップに参加した企業・団体等 25社にアンケートリンク（URL）を配信、回答いただいた。	
サンプル数	配信数	25社（※オブザーバーには配信していない）
	回収数	11社 回収率：44.0%
実施期間	2025年2月20日～2025年2月28日	
調査項目	✓ 地域企業向けワークショップ第3回、及び全体に対する意見、満足度 * 次年度以降の活動について ✓ 地域企業の洋上風力関連産業参入及び地場産業化を実現するための組織体の活動に関する意見、要望 ✓ 組織体への部会制の導入に関する意見、要望 ✓ 組織体の円滑なコミュニケーションのしくみに関する意見、要望 など	

- 本事業の地域企業向けイベント(ワークショップ)は参加者に概ね好評であり、地元企業間の異業種交流の重要性が認識され、機運醸成に一定の効果が認められた。次年度以降も洋上風力業界で実働する関係者による情報提供や意見交換に加え、**具体的な取組みに向け各社がより主体的に行動していく**ことが求められている。
- 組織体の具体的取組みとして市が提案する「業界研究」「新事業検討」「教育・広報活動」の**部会制**に異存はなく、全体会合と併せ連携しながら活動していく予定。
- 組織体の活動及び企業間交流の活性化・実効化のため、既存**コミュニケーションツールの導入**を検討、次年度以降実装していく。
- 組織体の活動は、その領域を洋上風力に関連する事業に限定せず、**洋上風力を契機とした石狩のまちづくり、地域活性化**ととらえることで、洋上風力に直接関係する企業もしない企業も含めて**それぞれの立場でビジネスの機会を模索・検討**し、**新ビジネスを実現**することを目指していくべきであるとの考え方が提示された。

④地域企業の洋上風力産業参入を実現するための組織体の在り方（組織体結成の要諦）

- 洋上風力先進地の文献・ヒアリング及び洋上風力関連産業参入に関する既往調査等机上調査と、石狩市内企業アンケートから、市内企業が連携して結成する組織体に求められる要素、機能を整理した。

組織体に必要な要素	組織体に望ましい機能	
	初期から	中長期
<p>✓ 意識改革（待ちの姿勢・他力本願 → 主体的・能動的に） 洋上風力の恩恵が自動的に降ってくる、誰かがやってくれるだろう・やってほしいといった待ちの姿勢からの意識改革(やる気・覚悟)が必要。</p>	<p>✓ 講演会やセミナーの開催をはじめとした業界情報の共有・提供、意見交換</p> <p>✓ (大手企業等との) ネットワーク構築</p>	<p>✓ 視察受入</p> <p>✓ 洋上風力に関する啓発、情報発信、広報（特に学生、住民向け）</p>
<p>✓ キーパーソン、中核企業によるリーダーシップ ⇒ 民間主導 地域への洋上風力発電導入、再エネ産業発展等について、大きな危機意識、もしくは自事業・地域にとって千載一遇のチャンスとの強い思い等から、強力な自分事化により、リーダーシップを発揮。</p>	<p>✓ (情報・知見不足を補う) 勉強会（部会等による自主開催）、研修会</p> <p>✓ 先進地視察</p> <p>✓ 国内外の発電事業者・関係者との交流機会、ビジネスマッチングの場の提供</p> <p>✓ 展示会、商談会等への出展支援をはじめとした販路開拓</p>	<p>✓ 国内外の行政機関やクラスター団体等との連携関係構築</p> <p>✓ 会員企業の情報集約、データベース化・見える化（対発電事業者等発注者）</p> <p>✓ ポータルサイトの開設、運営</p>
<p>✓ 発電事業者による地元理解と協力 - 洋上風力関連産業への地域企業参入 = 重要な地元貢献策の1つとの理解。 - 発電事業者コンソの強み・リソースの活用、提供による地域貢献。</p>	<p>✓ 国内外の発電事業者・関係者との交流機会、ビジネスマッチングの場の提供</p> <p>✓ 展示会、商談会等への出展支援をはじめとした販路開拓</p> <p>✓ 専門家招聘等による相談受付やコンサルティング（技術力や専門性不足への対応）</p> <p>✓ 洋上風力発電関連産業における人材育成（経験者登用も含め、人手不足対策が必要）</p>	<p>✓ 行政等による各種支援策の情報共有</p> <p>✓ 会員受付、総会等の資料作成・運営などの事務局機能</p>
<p>✓ 発電事業者サイドと地元サイド間の密なコミュニケーション（発電事業者への積極的アプローチ含む）、信頼関係</p>		
<p>✓ 地域一体で取り組み、シェアするという考え方の共有 地域企業の連携強化、同業他社との連携・分業等による地域競争力の強化。“チームで勝つ、発展する”という考え方。 *会員規約化してもよいのでは</p>		
<p>✓ 継続・アクティブ化、自走化するしくみ 主体的・能動的に動けるしくみ、自分事化するしくみ</p>		
<p>✓ 産官学金 + 様々な支援機関 の多様な連携、ネットワークの形成</p>		

※赤文字 = 市内企業アンケートで、特に求められていること

◎ **洋上風力関連情報を集約一元化した、石狩市の洋上風力の窓口として機能する**
* 地元企業のことがわからない発電事業者・元請企業がまずアクセスする窓口として
（完成品メーカーヒアリングでも、「地域におけるまとめ役企業、地域におけるネットワーク情報も重要」としている）

◎ **各社それぞれの立場でビジネス機会を模索する分科会や部会を通じて、参入可能な事業等を理解・把握し、新ビジネス創出や地域の発展など地元之恩恵のある取り組みを行っていく**

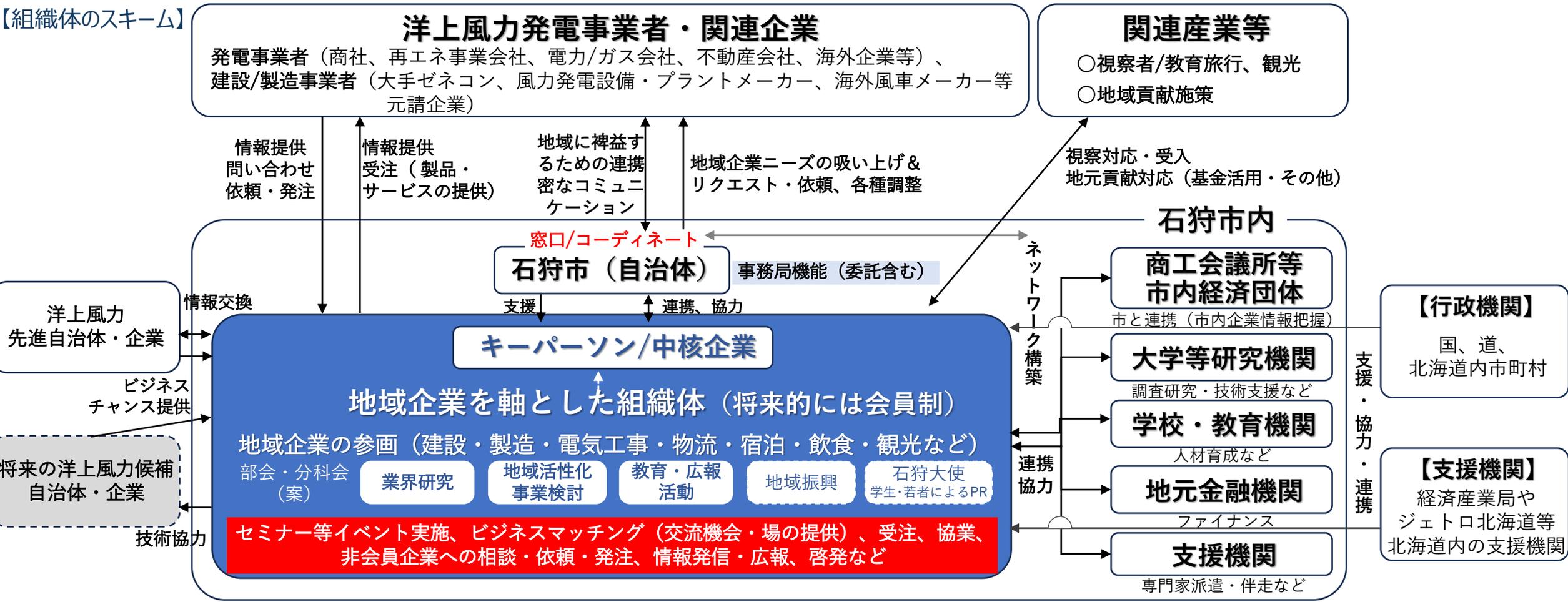
↓

組織体の取組みは、 **洋上風力を契機とした石狩のまちづくり、地域活性化** である

④地域企業の洋上風力産業参入を実現するための組織体の在り方

- ✓ 当初の組織体では、想定される石狩湾新港の基地港湾選定や石狩市沖での発電事業開始までの準備期間として、企業間連携を強化し**お互いをよく知って、密なコミュニケーション及び情報の交換・共有**を図る。具体的には、「**業界研究**」「**新事業検討**」「**教育・広報活動**」の分科会を設け、各リーダーのもと、それぞれ具体的な取り組みを始め、組織体の活動フェーズに合わせてテーマを変えていく。スモールスタートで活動し、地域企業等の新規参画も見込む。
- ✓ **定期的に洋上風力に関する勉強会**を実施。その中で、各分科会の活動の進捗も発表・共有する。

【組織体のスキーム】



④地域企業の洋上風力産業参入を実現するための組織体の在り方（ビジネスマッチングの在り方）

- 洋上風力先進地の各地域で行われているマッチング事例及び、前述の組織体に必要な要素・機能からマッチングのポイントを抽出、マッチングフローの形に落とし込んで整理した。

✓ マッチングのフロー

まずは自社の技術、類似実績等の棚卸しから。
地元企業間で“お互いをよく知る”ことにもつながる。

① 地元企業参入において求められる情報の棚卸し・集約・整理・発信

発注側が知りたい情報をほしい形で整備、提供。

② 地元企業データベースの整備 (地元企業の技術や経験の発掘や見える化)

地元企業のあらゆる形での洋上風力産業参画を図る。

③ マッチングイベントの定期開催

求められる情報の例

○ 地元企業の参入(フェーズ別)

フェーズ	主たるプレイヤー	求められる情報の例
建設	EPCI事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・基地港湾の岸壁背後、周辺での土地の空き状況(位置、面積、利用条件等) ・地元建設業者、曳舟業者、港湾運送事業者等の状況(対応可能な業務等)等
運用・維持管理	発電事業者、風車メーカー、O&M事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の曳舟業者・通船業者等の状況(参入意向、所有船舶、船員確保等) ・地元の風車等メンテナンス業者等の状況(参入意向、保有人材(資格者)) ・人材育成等への行政側の支援 等

出所：国土交通省港湾局
洋上風力発電を通じた
地域振興ガイドブック
令和4年2月

発電事業者・元請事業者側が必要とする地元企業情報を精査（発注等判断材料となる項目の聞き出し）、共通のフォーマットを組織体または行政が作成し、各社で記入。各社は営業・商談ツールとしても活用可。

※ 随時アップデート等可能なデジタルでの整備が望ましい

※ 資本金等の定量的データによって地元企業を複数のレイヤーに区分して整備することも検討する

例) 秋田風力発電関連企業ガイドブックの作成、北九州市ポータルサイト上で会員企業のダイレクトリーを公開

セミナー等による
全体マッチング

今後の石狩市沖については、
秋田ウエンティ・ジャパンの
ように出資して事業参画
を目指す野心的企業の
登場を期待。

分野
毎
マッ
チ
ン
グ

✓ 発電事業者
 ✓ 風車メーカー
 ✓ 関連部品
 サプライヤー
 ✓ 大手EPCI企業
 とのマッチング

個別
マッ
チ
ン
グ

各部会による
地元企業の
参入可能性
領域の検討

⑤機運醸成策の検討・実施（若年層向け映像コンテンツ等制作および出前講座の実施）

若年層向け映像コンテンツおよび出前講座資料・マニュアルの制作

【実施目的】

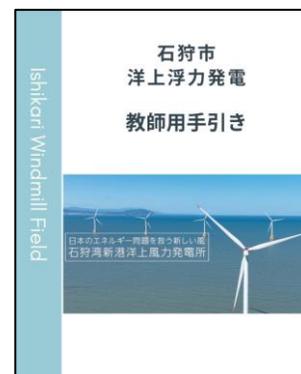
若年層の洋上風力発電への興味・関心を生み出す、洋上風力発電所のスケールを体感できる印象的なコンテンツを作成することを目的とする。

【制作物】

VR映像1本と2D映像（新規撮影素材および既存撮影素材）2本を組み合わせた映像コンテンツ、出前講座用投影資料・マニュアル、ワークシート



▲投影資料（一部）



▲マニュアル（表紙）



▲VR映像（一部抜粋）

出前講座

【実施目的】

石狩市では、2024年1月に営業運転開始した石狩湾新港港湾区域での洋上風力発電のほか、今後、一般海域（石狩市沖）での洋上風力発電事業の計画が見込まれており、道内の洋上風力発電事業を牽引するポテンシャルがあり、地域への経済効果を最大化させることが期待されている。

将来の働き手となりうる市民や若年層への周知活動を展開し、日本のエネルギー転換と将来の再生可能エネルギーについて興味関心を深めることを目的とする。

加えて、地元の小中学生についても1人の市民として、現在の石狩市でどのようなまちづくりが進められているのか周知する必要がある。洋上風力発電は大きな要素のひとつとなっている。

【実施対象】

2024年 9月18日（水） 石狩市立石狩中学校 1年生

2024年10月23日（水） 石狩市立双葉小学校 5年生

2025年 2月15日（土） 札幌創成高校 1年生

【出前講座とコンテンツの活用】

再エネを活用した石狩市のまちづくりにおいて大きな要素となる洋上風力発電事業について、若年層の理解促進を図るためには、より効果的・印象的に事業を伝える必要がある。

本事業で制作した環境教育向けの台本やプレゼン資料、映像コンテンツを場面に応じて活用し、出前講座を実施した。



⑤機運醸成策の検討・実施（市民向け周知イベント）

【実施目的】

石狩市には、多様な再生可能エネルギー（以下、再エネ）電源が集積しており、「地域でつくられた再エネを地域で活用する」という意味を持つ造語である「地産地活（ちさんちかつ）」をスローガンとし、再エネを看板とした企業誘致などによる持続可能なまちづくりを推進している。

そこで、上記のまちづくりの方針・現状を石狩市民にお知らせするとともに、将来を担う子どもたち（小学生～中学生）を主な対象とし、国内の先進事例でもある石狩市のGX（グリーン転換）*の取組を知ってもらうことを目的とする。また、今後の子ども（市民）向けの啓発手法についても本イベントの実施を踏まえて検討することも目的とする。

*化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動

【実施日時】

2025年2月4日（火）～2月14日（金） 各日11:00～17:00

【会場】

こども未来館あいぼーと および 石狩市民図書館

【主な内容】

- パネル展示
石狩市が進める再生可能エネルギーを使ったまちづくりに関するパネル
- おもちゃタウンいしかり
遊ばれなくなったおもちゃを活用した石狩市の再現
- VR体験 ※対象：中学生以上
機運醸成策の一環で作成したVR映像を活用したバーチャル体験

【主催】

石狩市

石狩市のまちづくりをたのしみながら知ろう！

いしかり再エネ地産地活博

2025年 2/4 (Tue) ~ 2/14 (Fri)

ぬり絵やクイズも！ おもちゃでつくった石狩市？ パネル展も！

会場 石狩市民図書館 (石狩市花川北7条1丁目26) 入場・参加無料！
こども未来館あいぼーと (石狩市花川北7条1丁目22)

イベントスケジュール

石狩市民図書館	こども未来館あいぼーと
期間中全日 (休館日除く)	期間中全日 (休館日除く)
● パネル展示 石狩市が進める再生可能エネルギーを使ったまちづくりをパネルで説明します。	● ぬり絵・子ども新聞配布 ぬり絵のほか、石狩市こどもの権利条例に基づき、まちづくりに関する子ども新聞を配布します。
2月12日 (水) ~ 14日 (金)	2月8日 (土) 9日 (日) 各日11:00~17:00
● おもちゃタウンいしかり 遊ばれなくなったおもちゃで、石狩市を再現！	● おもちゃタウンいしかり
● VR体験 (中学生以上対象) 石狩湾新港をドローンに乗って飛び回るバーチャル体験ができます！	● 風速測定・クイズ大会・おもちゃプレゼント クイズを解いたり、ぬり絵をしたり、風で電気をつくって遊ぼう。参加してくれた子どもたちには、おもちゃをプレゼント！

【問い合わせ】石狩市 企画政策部 企画推進課 TEL:0183-72-0158 MAIL:kouenk@city.ishikari.hokkaido.jp

▲イベントチラシ



イベントの様子▶